



## 対象者に合わせてコンテンツが切り替わる インバウンド対応型ビーコンデジタルサイネージ

### スマホ本体の設定に合わせて それぞれの言語で情報発信

(株)エンプライズは、(株)アミズと共同開発し、スマホアプリ「HMV」(以下、HMVアプリ)と連動する、スマホの言語情報やアプリの設定によってコンテンツが自動で切り替わるビーコンデジタルサイネージシステムを2015年11月19日、渋谷モディ内の書籍と音楽を融合させた都内最大級のエンターテインメントストア「HMV & BOOKS TOKYO」に導入した。

同システムは、HMVアプリを立ち上げて、店舗内に設置されたデジタルサイネージの前に立つと、アプリ内の設定に合わせてデジタルサイネージのコンテンツが自動で切り替わるようになっている。

外国人旅行者へのインバウンドサービスとして多言語にも対応しており、英語や中国語、韓国語などスマートフォン本体の言語設定に合わせて、それぞれの言語で情報配信する。

また、HMVアプリでは、Beaconによる屋内位置測位技術を活用し、店舗内でアプリを起動すると、楽曲試聴や商品在庫の有無、置いてある棚の位置表示、また、クーポンを受け取ることもできる。

店内のデジタルサイネージは、Eddystoneを活用する事で、HMVアプリをダウンロードしていないユーザーに対してもGoogleのアプリを介して同じように、コンテンツを切り替えることができる。

#### ■ アプリケーション制作

(株)エンプライズ

#### ■ システム・ハード機器導入

(株)アミズ



▲ エンターテインメントストア「HMV & BOOKS TOKYO」。



▲ 店内にはBeaconを約150個設置している。

